



HPはこちら

東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合
発責 組織情宣部
2023年10月31日 No.667

業績は絶好調！ JR東日本 第2四半期決算発表 営業利益は対前年 **283%** JR労働者の努力により連結・単体ともに **増収増益**

「第2四半期決算」 科 目	《単体》 (単位：億円)		2023.9/2022.9	
	2022年9月	2023年9月	増減	%
営業収益	8,202	9,573	+1,371	116.7
営業利益	546	1,550	+1,003	283.7
経常利益	356	1,303	+946	366.0
四半期純利益	301	936	+634	310.6



**運輸収入
対前年122%**

JR東日本は10月31日に「2024年3月期 第2四半期決算」を発表しました。単体決算では、運輸収入は対前年比+1,491億円の8,286億円（対前年比122%）、営業利益は1,550億円（対前年比283.7%）、四半期純利益は936億円（対前年比310%）となり、JR労働者の奮闘により対前年を大きく上回る増益を実現しました。

経営側は社員の奮闘、業績回復に満額回答で応えるべきだ！

- ★コロナ禍も終わり、ご利用実績も増えている。ボーナスも戻して欲しい。会社は働き方で「やり甲斐」を社員に与えていると言うが、ボーナスが多くなった事で、初めてやり甲斐があると思う！他企業と比べて月数は少ない。年間6.0以上に戻して欲しい！（信越）
- ★お客さまのご利用も戻ってきてるのは社員の努力があってこそ！現場の努力を賃金、ボーナスで評価しないと若手社員の退職に歯止めがかかりません！（関東）
- ★とにかく全ての物価が高騰して安いものを探すことが容易ではない。子供が小さく、これからお金がかかる。利益は出ているのだから還元して欲しい！（関東）
- ★エルダーの給料では生活費補填のため、年間6.0ヵ月以上が必要です。会社の業績は対前年を大きく上回っています。社員の努力に報いるべきです！（東北）
- ★儲かっているときもボーナスは抑えられてきた。今、収入も回復し、物価高、社員一人ひとりの労働量も増えている。会社は社員に還元するべき！（信越）

**2023年末手当団体交渉スタート
3.5ヶ月要求満額獲得に向けてともに声を上げよう！**